

国立扶餘博物館・国立公州博物館研究者招聘記念講演会
『韓国^{ふよ}の博物館に学ぶ』^{こうしゅう}

九州国立博物館は毎年、大韓民国の国立公州博物館および国立扶餘博物館と学術文化交流協定に基づく2週間の相互派遣を行っています。

今回は、来日した韓国の研究者に両館の紹介と御自身の専門や今回の調査テーマをわかりやすく紹介していただいたあと、聴講の皆様から頂いたご質問をもとに、日韓の国立博物館の違いおよび共通点に留まらず、生活や文化についても幅広くご紹介をさせていただきます。

お隣の国、韓国について知っていただく機会です。奮ってご参加下さい。

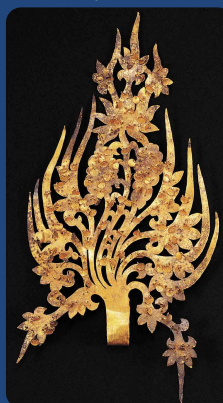
日時 平成30年6月5日 火
13時30分～15時30分

場所 九州国立博物館 1 階研修室

定員 60名（先着順）

料金 無料

(左) 金製冠飾（王）（国立公州博物館所蔵）
(中央) 百濟大香炉（国立扶餘博物館所蔵）
(右) 韓国地図



第1部 講演会

「国立公州博物館の現状と未来」

一常設展のリニューアルの成果と地域別収蔵庫建設を中心にー」(30分)

国立公州博物館学芸研究士 李慶洙（イ・キョンス）氏

「国立扶餘博物館と博物館での保存科学」(30分)

国立扶餘博物館学芸研究士 黄鉉盛（ファン・ヒョンソン）氏

(15分 休憩)

第2部 質問コーナー

「韓国^{ふよ}の博物館に学ぶ」

頂いた質問を元に講演者にお答えいただきます。

※ なお、発表は逐次通訳されます。